

FUJIEDA ROTARY CLUB  
**Weekly Bulletin**  
 事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321



心岳寺のおくげ  
 写真提供：鈴木舜光君

**第1644回**



<ソング>君が代・奉仕の理想  
 <ソングリーダー>増田 國衛君

2005-2006年度 RIテーマ

**超我の奉仕**

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

**会長挨拶** 会長 鈴木 廣利君

11月は秋と冬の橋渡しの月であります。霜や薄氷が張るなど時々冬の風景が見られるが、晩秋から初冬にかけて現れる暖かな日を小春日と呼んで「今日はいいい日ですね」とあいさつを交わす光景に出くわします。今日、11月2日は旧暦の10月1日で、10月は小春の異称があり、そこから生れたのが小春日と云われています。日本は春の陽気に例えているが、米国ではインディアンサマー、ドイツは老婦人の夏、ロシアは女の夏、イギリスは聖マルタンの夏と外国では夏と表現しています。又11月はロータリーでは財団月間にあたります。財団の使命は「国際ロータリーの努力を支援すること」をその目的としております。その支援する手段は地域、日本、そして国際レベルの人道的、教育的、文化的プログラムを通じて行くとされています。私共のクラブと関係ある身近なことでは、国際親善奨学金制度や、研究グループ交換(GSE)等の教育プログラムや、ポリオプラスプログラム等があります。このプログラムを支える財団寄付の2,620地区の目標は\$120/人です。日本全国では約140万ドルになります。これは世界中のロータリアンから集まる額の約14.2%になりますし、又2620地区は\$544,710で日本の4%にあたります。ぜひ世界の人々が理解し合い、友好と平和に暮らせる為にも財団に更なるご協力をお願いします。今日は財団寄付についてお話をしました。

**理事会報告** 松葉 隆夫君

- 11月、12月のプログラムについて承認されました。
- 2006～07年度副会長・副幹事指名決定が承認されました。
- 35周年実行委員長選出について話し合いました。(アンケート実施)
- クリスマス夜間例会について(12/21)承認されました。

**出席報告** 後藤 功君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
27 / 41 65.85%	33 / 41 80.49%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 岩田君 ○小宮君 ○桜井富君 ○成瀬君
- 宮川君 ○村松徳君 ○山田君 ○村松英君
- 青島彰君 浅川君 板倉君 鈴木舜君
- 仲田晃君 望月志君

**ビジター**

藪崎 宰一君(藤枝南)

**スマイルBOX** 後藤 功君

● 青年時代大病をしたので、恐らく長生きはできないと思っていました。おかげで75才の誕生日を迎えます。ありがとうございます。  
 去る10月28日(金)に国土交通省において大臣表彰を頂きました。20代から運送業を始めて50年余、振り返ってみると浮き沈みの人

生の連続でした。然しここまで生きてこられた事を感謝します。ありがとうございました。

水野 義猛君

●誕生祝ありがとう。77回目ですが通過点です。

櫻井 龍太君

●誕生のお祝いありがとうございます。

後藤 功君

●誕生祝ありがとう。63才になりました。

夫人の誕生祝ありがとうございます。

40回目の記念日ありがとうございます。

村松 宏一君

●数十回目の記念日、有難うございます。

過日のゴルフ同好会で優勝させて頂きました。

皆様のご指導有難うございます。石垣 善康君

●結婚記念日のお祝いをいただきありがとうございます。初孫誕生で楽しい日々をおくっています。

岩崎 四郎君

●お祝いありがとうございます。もう17年、まだ17年です。今朝も妻から明日どうする？と問われましたが、年に1度の事命がけでがんばろうと思います。

池ノ谷 敏正君

●10月23日(日)藤枝CC東コース5番にてホールインワン達成

杉山 静一君

スマイル累計額 457,000円

## ロータリー財団卓話

R 財団委員会

渡辺 篤司君



『ロータリー財団とは』

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチ・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法

人となりました。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は、「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものです。

ロータリー財団は、国際ロータリー会長エレクトを含む理事会メンバーが推薦し、理事会が選出した15名のロータリー財団管理委員によって運営されます。国際ロータリー理事会と管理委員会は密接に連携を取り合い協力しています。管理委員のうち4名は国際ロータリーの元会長です。

ロータリー財団の使命は、2000年2月の財団管理委員会において新しく改訂され、「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定されました。

ロータリー財団の使命である国際活動に、新しく地域レベル、全国レベルの活動を加えることによってロータリー財団の基盤と範囲がさらに広がることになりました。人類は一つです。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの夢は実現されません。

私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。この両者のバランスが十分よくとれてこそ、初めて貧困や飢餓、疾病や障害に悩み、苦しんでいる全世界の人たちのために奉仕し、世界理解と平和に貢献するという私たちの目的が達成できるのです。

(担当/望月俊)